

リモートアクセスシステム
(Remote Access System)
RAS-クライアントインタフェース仕様書
QUICPay 業務サービス編

第 18 版

承認	審査		作成
			

改版 2025 年 5 月 20 日

初版 2012 年 11 月 6 日



JR 東日本メカトロニクス株式会社

変更履歴

IT ソリューション事業本部 決済プラットフォームデザイン部 次世代決済 PF 開発 2 課

277 頁

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
初版	2012. 11. 6	全項	—	新規作成	高井	田中	櫻木	橋詰
2 版	2013. 5. 7	P4	変更	例題の記述誤りを訂正 (aaa→QP)	高井	田中	櫻木	橋詰
		P6	変更	表 2-2 項番 6～8 ・内容欄の記述（文章）誤りの訂正 （取消・返品、業務処理状態応答時に売上→「取消・返品、業務処理状態応答時に」を削除） ・項番 8 のデータ長の記述変更（16～20→16, 20）				
		P8	変更	表 2-3 項番 6～8 ・内容欄の記述（文章）誤りの訂正 （取消・返品、業務処理状態応答時に売上→「取消・返品、業務処理状態応答時に」を削除） ・項番 9 の記述誤りを訂正（本項目は QUICPay では利用しない。）				
		P8, 9	変更	表 2-4 項番 5, 7, 11 ・パラメータの設定に関する記述誤りを訂正 ・注釈の記述誤りを訂正（注釈※1を削除、注釈番号の振り直し）				
		P11	変更	表 2-5 項番 8 内容に取消返品可否フラグとの関連を記載 表 2-5 項番 10 データ長の記述誤りを訂正（16～20→16, 20） 表 2-5 項番 11 データ属性の記述誤りを訂正（number→string）				
		P14, 15	変更	表 2-6 項番 2～5 データ長の記述誤りを訂正（16～20→16, 20） 表 2-6 項番 11 内容欄の記述誤りを訂正（QUICPay では設定しない） 表 2-6 項番 21 データ長の記述誤りを訂正（固定→可変） 表 2-6 項番 24 設定の有無欄の注釈番号の誤りを訂正（*3→*2）				
		P18	変更	表 2-7 項番 19 データ長の記述誤りを訂正（16～20→16, 20） 表 2-7 項番 23 記述誤りを訂正（IC 通番→取引通番、icSeqNo→dealingsThroughNum、他）				
		P22	変更	図 3-1 全面改訂				
		P24, 25	変更	図 3-2, 図 3-3 金額表示を 5 桁から 6 桁に変更				

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査	作成
		P26	変更	図 3-4, 図 3-5 全面改訂			
		P27, 28	変更	表 3-2 ・データ長の記述誤りを訂正 (16→20→16, 20) ・プロパティ名「trade」の「内容」の記述の訂正 (業務と値の関係を記載) ・プロパティ名「effectiveTerm」の「設定の有無」の変更 (有→有/無*5) ・プロパティ名「dealingsThroughNum」の「内容欄」に一部返品に関する記述を追記 ・プロパティ名「saleTrade」の「内容欄」の記述誤りを訂正 (値 21→20) ・プロパティ名「code」の注釈番号の誤りを訂正 (6→10) ・プロパティ名「addInfo」の「データ長欄」の記述誤りを訂正 (99→165) ・注釈の記述誤りを訂正 (*6, *8→*7)			
		P28	追加	表 3-2 ・処理結果通知インタフェースにプロパティ名「saleDealingsThroughNum」を追加 ・プロパティ名 code に対する注釈 (*10) を追加			
		P29	追加	表 3-3 一部返品業務の取消/売上プロパティ名を追加			
		P29	変更	表 3-4 ・プロパティ名「trade」の「内容欄」の記述誤りを訂正 (業務と値の関係を記載)			
		P30～32	追加	図 3-6, 図 3-7, 図 3-8 JSON 例に、saleDealingsThroughNum を追加 (例では null をセット)			
		P31	変更	図 3-7 例題の記述誤りを訂正 (time の値を null に変更, プロパティ「addinfo」の記載項目を追加)			
		P34, 35	追加	表 4-1 ・エラーコード 524 を追加 ・エラーコード 92 を追加			
		P40	変更	図 4-2 金額の桁数を 5 桁→6 桁に変更			
		P44～48	変更	表 4-3, 表 4-4, 表 4-5、表 4-6、表 4-7、表 4-8 LCD1 の表示金額を 5 桁から 6 桁に修正			
		P44	変更	表 4-3 項番 2 ・LCD1 メッセージ番号の誤りを訂正 (504→505) ・メッセージ「QP ヘンピン」を「QP トリケシ」に変更			
		P45	変更	表 4-4 項番 1, 2 内容欄の記述誤りを訂正 (業務開始→業務処理中) 表 4-4 項番 2 ・メッセージ番号の誤りを訂正 (504→505) ・メッセージ「QP ヘンピン」を「QP ト			

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
				リケン」に変更				
		P46	変更	表 4-5 項番 2 の LCD1 の内容を変更 ・メッセージ番号「505」を「504」に変更 ・メッセージ「QP ヘンピン」を「QP トリケン」に変更				
		P47～ 49	変更	表 4-6 項番 2 LCD1 のメッセージ番号の誤り訂正 (509→508) 表 4-6 項番 5 LCD1, 2 の記述内容の誤り修正 表 4-6 項番 6 LCD1 のメッセージ番号 (508→507) とメッセージの変更 表 4-6 項番 7 異常処理についての処理を追加 表 4-6 項番 9 LCD1 のメッセージ番号の誤り訂正 (509→508) 注釈 *4 から「Write」を削除				
		P51		表 4-7 項番 2 メッセージ「QP ヘンピン」を「QP トリケン」に変更 表 4-7 項番 3 LCD1 のメッセージ番号の誤り訂正 (506→507)				
		P52～ 54	変更	表 4-8 項番 2 メッセージ「QP ヘンピン」を「QP トリケン」に変更 表 4-8 項番 5 LCD1, 2 の記述内容の誤り修正 表 4-8 項番 6 ・内容に初回書込みと 2 回目以降の処理の記述を追加 ・メッセージ「QP カザシテクダサイ」を「カードヲカザシテクダサイ」に変更 ・LCD1 のメッセージ番号の誤り訂正 (508→507) 表 4-8 項番 7 ・内容の () 内の記述を Write までを Read までに変更 ・内容にエラーコードが 355 の場合であることを追加 表 4-8 項番 9 ・異常終了についての項目を追加 表 4-8 項番 10 LCD1 のメッセージ番号の誤り訂正 (509→508)				
3 版	2014. 12. 9	9	変更	業務処理状態応答の業務設定パラメータの設定ルールとして※3を追加	高井	東	櫻木	横溝
		10	変更	表 2-5 項番 4 処理結果情報の項目の説明を別表参照に修正				
		11	変更	図 2-1 に表 2-5 の内容を反映				
		13～ 16	変更	表 2-6 に処理結果通知と業務処理状態応答の項目設定有無列を追加				

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
				表 2-6 に*4 を追加 表 2-6 の項番 27 の内容を修正				
		27～ 29	変更	表 3-4 に処理結果通知と業務処理状態応答の項目設定有無列を追加 表 3-4 に*9、*12、*13 を追加				
		30	変更	表 3-6 を追加				
		40	追加	4. 2. エラーコード一覧(業務処理状態応答)を追加				
		11 19 32 33 34	変更	図 2-1 誤記修正 図 2-6 誤記修正 図 3-6 誤記修正 図 3-7 誤記修正 図 3-8 誤記修正				
4 版	2015. 1. 20	11	追加	図 2-1 のサンプルに以下の項目を追加 ・付加情報	高井	東	櫻木	横溝
		15	追加	表 2-6 に項番 36 を追加 ・付加情報				
		16	追加	表 2-6 の*3 補足追記				
		28	削除	表 3-4 の支払方法選択情報の*13 を削除				
		29	変更	表 3-4 の以下の項目の項目の有無(業務処理状態応答)の内容を“○”に変更 ・付加情報 表 3-4 の*13 の内容を削除 表 3-4 の*11 補足追記				
		31	追加	表 3-7 の履歴情報のプロパティ名に*4 への参照を追記 表 3-7 に*4 を追記				
5 版	2016.4.12		変更	本部移転に伴う文書番号の変更 QIT-A-12230 ↓ Q 電事-A-15095	谷	東	櫻木	佐藤
		2	追加	表 1-1 用語の定義 【QP+対応】 項番 20: ポイント残高 項番 21: チャージオーソリ 項番 22: QUICPay+ 項番 23: 実額オーソリ を追加				
		6～8	変更	表 2-2 QP 業務サービスパラメータ詳細 【完了通知未了対応】 項番 10 旧決済 ID について、業務処理状態応答が対象とする業務を追記。 ※2 としてエラー終了するケースを記載。 【誤記修正】 項番 8 会員番号について、データ長を“16,20(可変)”から“20(固定)”に修正				

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査	作成
		14～17	変更	<p>表 2-6 かざしなし(マニュアル) 返品業務の処理結果データー一覧</p> <p>【誤記修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項番 5,6,7,8,9 のデータ長を“16,20(可変)“から”20(固定)“に修正。値を”20 桁の英数記号“に修正 ・項番 11 の内容を“取消・返品:21”に修正 ・項番 12,13,14,15,16,17,26 の内容を“QUICPAY は設定しない“から、”null 固定“に変更 ・項番 26 の設定の有無を“無”に修正 <p>【QP+対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項番 32,33 の内容を“QUICPAY は設定しない“からオーソリエラーが発生した際に値を入れるように修正、設定の有無を”無”から”有/無*6”に修正、*6 としてオーソリ異常が発生した場合のみ値を設定する説明を追加。 <p>【完了通知未了対応】</p> <p>処理結果データー一覧の注釈を修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・*1 を適切な日本語に修正。 ・*5として、業務サービスパラメータから取得した値を設定する項目であることの説明を追加。 			
		18～19	変更	<p>表 2-7 日計処理結果データー一覧</p> <p>【誤記修正】</p> <p>項番 19 のデータ長を“16,20(可変)“から”20(固定)“に修正。</p>			
		29～31	変更	<p>表 3-4 処理結果通知インタフェース</p> <p>“項番“を追加、各項目に項番を記載</p> <p>【QP+対応】</p> <p>項番 12,13,14,16,17,26 の内容を“QUICPAY は設定しない“から、”null 固定“に変更</p> <p>【誤記修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項番 5,6,7,8,9 のデータ長を“16,20(可変)“から”20(固定)“に修正。 ・項番 36 の設定の有無を“有”から“有/無*13”に修正、 *13 として履歴出力業務のみ値を設定する項目である事の説明を追加。 			
		33	修正	<p>【QP+対応】</p> <p>表 3-7 履歴出力処理結果通知インタフェースの*1</p> <p>記載内容を QP+の仕様に合わせて変更</p>			
		37～38	追加	<p>【完了通知未了対応】</p> <p>4.クライアント端末に対する動作要求を追加</p>			
		40 42 43	修正	<p>【QP+対応】</p> <p>5.1 エラーコード一覧に QP+に関するエラーコードを追記</p> <p>#8, #10, #11, #25, #35</p>			
		62	追加	<p>【完了通知未了対応】</p> <p>処理結果コード一覧を追加</p>			

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
6 版	2016.6.21	1-3	変更追加	【QP+対応】 表 1-1 用語の定義 項番 21 チャージオーソリ ※両方合致した場合は(1)のみを行うに変更 項番 23 実額オーソリの記載内容から一部返品の記載を削除	谷	東	櫻木	佐藤
		4	変更	【QP+対応】 表 2-1QUICPay 業務サービス固有の応答データ一覧 項番 2 一部返品入力可否フラグ 一部返品使用不可のため、false 固定に修正、注釈を追加				
		7	削除	【QP+対応】 表 2-2QUICPay 業務サービスパラメータ詳細 項番 9 旧決済 ID 一部返品の記載を削除				
		8	削除	【QP+対応】 表 2-3 QUICPay 業務サービスパラメータ詳細(設定値) 項番 1 業務識別子一部返品の記載を削除				
		9	削除	【QP+対応】 表 2-4 業務設定パラメータ 一部返品の記載を削除				
		19	削除	【QP+対応】 表 2-7 日計処理結果データ一覧 注釈部分 一部返品の記載を削除				
		30	変更	【QP+対応】 表 3-4 処理結果通知インターフェース 項番 27 一部返品フラグ false 固定に変更 項番 28～31 null 固定に変更 *9 の記載内容を変更				
		31-32	変更	【QP+対応】 表 3-5 一部返品業務の取消/売上プロパティ名 表 3-6 業務処理状態応答業務 一部返品業務が使用停止の旨を追記				
		33	削除	【QP+対応】 表 3-7 履歴出力結果通知インターフェース *1 注釈部分 一部返品の記載を削除				
51-55	変更 削除	【QP+対応】 表 5-4 R/W デバイス操作内容(業務開始時) 表 5-5 R/W デバイス操作内容(業務処理中) 表 5-6 R/W デバイス操作内容(2 度かざし待ち時) 表 5-7 R/W デバイス操作内容(業務終了時) ・一部返品は使用停止のため記載削除 ・取消・返品業務で実額オーソリの際の挙動を記載 ・項番 6(異常終了)削除 ・その他誤記修正						

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
		60	削除	【QP+対応】 表 5-9R/W デバイス操作内容(業務終了時) ・項番 6(異常終了)削除				
		62	削除	【QP+対応】 表 5-10 処理結果コード一覧 項番 13 取消処理済 一部返品の記事を削除				
7 版	2016.7.5	55	追加	【QP+対応】 表 5-7 R/W デバイス操作内容(業務終了時) 項番 8 に取消・返品時のパターンを追記	谷	東	櫻木	佐藤
8 版	2017.7.4	7	修正	表 2-2 No.4 リトライの記事を削除	谷	東	桜木	藤本
		23	修正	表 3-1 注釈を削除 No2 の記事を修正				
		24 28 40 47 49 52 53 60	削除	2 度かざし削除により以下を修正 3.2.1.キャンセル確認要求 2 度かざし時の 1 度かざし目に最終キャンセル確認要求を送信する旨の記事を削除。 図 3-5 LCD2 表示イメージのメッセージ番号 604 のメッセージ「サイドカザシテクダサイ」を削除。 5.1.エラーコード一覧 表 5-1 エラーコード一覧のエラーコードが「514(0x202)」の内容からオーソリ時の 2 度かざしにて別カードを R/W にかざす旨の記事を削除 5.3.端末の状態遷移 ・図 5-2 端末の状態遷移図(2/2)を以下の通り修正。 「オーソリ中」の状態を追加、「待受け状態 2」を削除 「※4」のオーソリ時の 2 度かざしの記事を削除 5.4. R/W デバイス操作内容 図 5-3 R/W デバイス操作内容(オンライン処理)の「R/W デバイス操作(2 度かざし待ち)」を削除 5.4. R/W デバイス操作内容 表 5-6 R/W デバイス操作内容(2 度かざし待ち時)を削除。 5.4. R/W デバイス操作内容 表 5-6 R/W デバイス操作内容(業務終了時)の項番 3「正常終了(売上処理)※オンライン処理前の R/W クローズ処理」を削除 表 5-10 処理結果コード一覧の「処理継続」の内容を「2 度かざし処理における 1 度				

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
				かざし目の処理が終了した。」から「オーソリ処理前の業務処理結果」へ変更				
		27	修正	3.4 リトライ要求から機能仕様書(RASークライアントインタフェース仕様書)を参照する旨の記載を修正				
		41	削除	表 5-1 エラーコード一覧から「#14(エラーコード 517)」を削除				
9 版	2017.9.11	37	追加	4.1.アクセス集中を防ぐ対応 を追加	谷	東	桜木	長谷川
10 版	2018.2.27	12	追加	【特定端末対応】 図 2-1 該当業務あり時の処理結果通知正常終了パラメータデータに「カード会社名」の設定イメージを追加	谷	東	泉	藤本
		19,20,21,22	追加	表 1-1 日計処理結果データ一覧に「#17～24 カード会社別小計」、「#32 カード会社名」を追加 図 1-6 日計業務の処理結果通知正常終了時のパラメータデータに「カード会社別小計」、「カード会社名」の設定イメージを追加 図 1-7 日計業務の処理結果通知異常終了時のパラメータデータに「カード会社別小計」の設定イメージを追加				
		29,31,34,36	追加	表 3-4 処理結果通知インタフェースに「#5 カード会社名」を追加 図 3-6 日計業務の処理結果通知正常終了時のパラメータデータに「カード会社名」の設定イメージを追加 図 3-8 日計業務の処理結果通知異常終了時のパラメータデータに「カード会社名」の設定イメージを追加				
		40	修正	表 5-1 エラーコード一覧の「#13(エラーコード 520)」の内容を修正				
		46	変更	図 5-2 端末の状態遷移図(2/2) ・決済完了状態の LED を「緑点灯」から「青点灯」へ変更 ・オーソリ中の LED を「青点灯」から「null ※操作しない」へ変更				
		49	追加	表 5-4 R/W デバイス操作内容(業務開始時) ・項番 1 業務開始(売上処理) LED1 の時間を「T1」から「0(0x00): 無制限」に変更				
		50	変更	表 5-5 R/W デバイス操作内容(業務処理中) ・項番 1 業務処理中(売上処理) LED1 を「null ※操作しない」に変更 ・項番 2 業務処理中(取消・返品) LED1 を「null ※操作しない」に変更				

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
		51	変更	【特定端末対応】 表 5-6 R/W デバイス操作内容(業務終了時) ・項番 1 正常完了(売上処理) LED1 の色コードを「3(0x03): 緑」から「1(0x01): 青」へ変更				
		55	変更	表 5-7 R/W デバイス操作内容(業務開始時) ・項番 1 業務開始(売上処理) LED1 の時間を「T1」から「0(0x00): 無制限」に変更				
		56	変更	【特定端末対応】 表 5-8 R/W デバイス操作内容(業務終了時) ・項番 1 正常完了(売上処理) LED1 の色コードを「3(0x03): 緑」から「1(0x01): 青」へ変更				
		59	追加	5.6.トレーニングモードのシナリオと動作条件				
11 版	2018.7.17	58	追加	表 5 8 R/W デバイス操作内容(業務終了時) ・項番 9 異常終了(履歴出力処理、回復不能)を追加	谷	千喜良	泉	藤本
12 版	2019.7.2	—	—	本部移転に伴う文書番号の変更 Q 情シ-A-17024 ↓ QS 事-A-19040	谷	千喜良	重川	遠藤
		20-23	追加	表 2-7 日計処理結果データ一覧に「#17～24 カード会社別小計」、「#32 カード会社名」を追加 図 2-6 日計業務の処理結果通知正常終了時のパラメータデータに「カード会社別小計」、「カード会社名」の設定イメージを追加 図 2-7 日計業務の処理結果通知異常終了時のパラメータデータに「カード会社別小計」の設定イメージを追加				
		30, 35, 37	追加	表 3-4 処理結果通知インタフェースに「#5 カード会社名」を追加 図 3-6 日計業務の処理結果通知正常終了時のパラメータデータに「カード会社名」の設定イメージを追加 図 3-8 日計業務の処理結果通知異常終了時のパラメータデータに「カード会社名」の設定イメージを追加				
		12	追加	図 2-1 該当業務あり時の処理結果通知正常終了パラメータデータに「カード会社名」の設定イメージを追加				
		15	追加	表 2-6 かざしなし(マニュアル)返品業務の処理結果データ一覧				

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
				に「#10 カード会社名」を追加				
		18,19	追加	図 2-4 マニュアル返品時の処理結果通知 正常終了パラメータデータ ならびに図 2-5 マニュアル返品時の処理結果通知異常終了パラメータデータに「カード会社名」の設定イメージを追加				
		47	変更	図 5-2 端末の状態遷移図 (2/2) ・決済完了状態の LED を「緑点灯」から「青点灯」へ変更 ・オーソリ中の LED を「青点灯」から「null ※操作しない」へ変更				
		52	変更	表 5-4 R/W デバイス操作内容 (業務開始時) ・項番 1 業務開始 (売上処理) LED1 の時間を「T1」から「0(0x00): 無制限」に変更				
		53	変更	表 5-5 R/W デバイス操作内容 (業務処理中) ・項番 1 業務処理中 (売上処理) LED1 を「null ※操作しない」に変更 ・項番 2 業務処理中 (取消・返品) LED1 を「null ※操作しない」に変更				
		55	変更	表 5-6 R/W デバイス操作内容 (業務終了時) ・項番 1 正常完了 (売上処理) LED1 の色コードを「3(0x03): 緑」から「1(0x01): 青」へ変更				
		59	変更	表 5-7 R/W デバイス操作内容 (業務開始時) ・項番 1 業務開始 (売上処理) LED1 の時間を「T1」から「0(0x00): 無制限」に変更				
		60	変更	表 5-8 R/W デバイス操作内容 (業務終了時) ・項番 1 正常完了 (売上処理) LED1 の色コードを「3(0x03): 緑」から「1(0x01): 青」へ変更				
		62	追加	表 5 8 R/W デバイス操作内容 (業務終了時) ・項番 12 異常終了 (履歴出力処理、回復不能)を追加				
		56	変更	表 5-6 R/W デバイス操作内容 (業務終了時) ・項番 6 異常終了 (T1 タイムアウト) の LCD1、LCD2 の時間を「0(0x00): 無期限」から「T3」へ変更				
		40	削除	表 5-1 エラーコード一覧 エラーコード:「94(0x005E)」を削除				
13 版	2020.10.27	6, 13	変更	2.2.起動要求/業務要求インタフェース ・図表を QUICPay サービス編別冊 パラメータ一覧に分割 2.2.2.2 処理結果通知 ・図表を QUICPay サービス編 別冊 パラメータ一覧に分割 3.5.1.処理結果通知メッセージ	谷	岡田	櫻木	遠藤

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査	作成
				・図表をQUICPayサービス編 別冊 パラメーター一覧に分割			
		6	変更	2.2. 起動要求/業務要求インタフェース ・別冊参照先を「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 2.2.1.」に変更			
		17	変更	5.1. エラーコード一覧 ・エラーコード「523(0x020B)」の内容欄の記述を「業務処理状態応答で」から「下記の業務で」に変更し、対象業務を内容欄下記に追加。			
		12	追加	3.4. リトライ要求 ・文章を追加			
		37	変更	5.6. トレーニングモードのシナリオと動作条件 ・表を QUICPay サービス編別冊 パラメーター一覧に分割			
		16,17,21	変更	章 5.1.1 を追加 章 5.1.2 を追加 エラーコード 523(0x020B)を別冊に分離			
		3	追加	1.5.前提知識 「TCAP(Thin Client Application Protocol)に関する知識」を追加			
		17	追加	表 5-1 エラーコード一覧 #12 「・取消対象として指定された売上情報が存在しない。」を追加			
		26,27	変更	5-4 R/W デバイス操作内容 ・R/W デバイス操作内容の表を QUICPay サービス編別冊 パラメーター一覧に分割			
		22	変更	5-3 端末の状態遷移 ・「端末の状態遷移図(売上)」を QUICPay サービス編別冊 パラメーター一覧に分割			
		10	変更	3.3.1. R/W デバイス操作要求 図 3-2 LED1、LED2、Sound、LCD1、LCD2 操作時のパラメータデータを QUICPay サービス編別冊 パラメーター一覧に分割			
		11	変更	3.3.1. R/W デバイス操作要求 図 3-3 LCD1、LCD2 のみ操作時のパラメータデータを QUICPay サービス編別冊 パラメーター一覧に分割			
		11,12	変更	3.3.1. R/W デバイス操作要求 図 3-4 LCD1 表示イメージを QUICPay サービス編別冊 パラメーター一覧に分割 図 3-5 LCD2 表示イメージを QUICPay サービス編別冊 パラメーター一覧に分割			
		24	変更	5.5.処理結果コード一覧 表を QUICPay サービス編別冊 パラメーター一覧に分割			
		11	変更	3.4.リトライ要求 リトライ要求のインタフェースを QUICPay サービス編別冊 パラメーター一覧に分割			
		13	変更	4.3.処理未了が発生した場合の動作 QUICPay サービス編別冊 パラメーター			

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
				覧に分割				
		19	変更	5.1.1.共通エラーコード一覧 エラーコード「353(0x0161)」を QUICPay サービス編別冊 パラメーター 覧に移動				
		14	変更	4.4.通信エラーが発生した場合の動作 QUICPay サービス編別冊 パラメーター 覧に分割				
		22,23	変更	5.4.1.オンライン処理 5.4.2.オンライン処理以外 RW デバイス操作内容の参照先に関する 記載を変更				
		22,23	変更	図 5-2 図 5-3 業務処理中のクライアントインターフェー ス追加				
		1	変更	iD の IF 仕様書の文言を削除				
		2	追加	21.チャージオーソリ チャージオーソリーの目的を追記				
		3	追加	23.実績オーソリー 実績オーソリーの目的を追加				
		12	変更	3.5.2.処理結果通知応答 クライアントインターフェース仕様書の参 照先を iD から QUICPay に変更				
		15	変更	5.1.1.共通エラーコード一覧 QUICPay サービス編別冊 パラメーター 覧に分割				
		16	変更	5.2.エラーコード一覧(業務処置状態応 答結果) エラーコードを別冊に分割				
		21,22 23,24	追加	5. 7 決済業務における動作シーケンス図 を追加				
		21	追加	5.4.R/W デバイス操作内容 説明文を追加				
14 版	2021.2.9	10,12	追加	表 3-3、表 3-4 Sound の「内容」欄に注釈「※既に端末側 で制御コード: 6(0x06)をブザー鳴 動している場合、新たに RAS から 制御コード: 6(0x06)のブザー鳴動 指示があっても鳴動し直さず、現在 鳴動中のブザー音を継続すること」 を追加	谷	岡田	櫻木	遠藤
15 版	2021.12.14	—	—	別冊パラメーター覧の変更に伴う改版	谷	岡田	櫻木	遠藤
16 版	2022. 10. 3	8	削除	3.1.ステータス設定 表 3-2 ステータス設定インターフェース 図 3-1 ステータス設定要求を機能仕様書 (RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター 覧に移動。	谷	藤田	櫻木	遠藤
		18	削除	表 5-1 エラーコード大分類を削除。 (別冊へ移動済)				

版数	発行年月日	頁	種別	変更内容	承認	審査		作成
		—	—	別冊_パラメーター一覧への変更				
17 版	2023. 4. 25	26	変更	図 5-6 通信エラー発生時 シーケンス図のステータス判定部分に、一 度でもステータス2を受け取ってい る場合のコメントを追加	谷	藤田	櫻木	遠藤
		—	—	別冊_パラメーター一覧への変更				
18 版	2025. 5. 20			【定期リリース対応(2025 年度第一四半期)】	谷	東	舞良	遠藤
		12	変更	3.3.1. R/W デバイス操作要求 ・表 3-3 R/W デバイス操作インタフェース (UI ガイドライン対応) 項目「LCD1」「LCD2」「LCD3」の参照先 を「機能仕様書(RAS-クライアントイ ンタフェース仕様書 QUICPay サ ービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.4.」に変更				
		21	変更	5.4.1. オンライン処理 2024 年 7 月システムリプレイス以前の仕様を 旧仕様として記載を変更				
		22	変更	5.4.2. オンライン処理以外 2024 年 7 月システムリプレイス以前の仕様を 旧仕様として記載を変更				
		—	—	別冊_パラメーター一覧への変更				

* 1文字修正、誤字修正などは、誤字修正として一括で変更を行う。

備考

- ・ 本書、及び関連資料は予告なく改版することがある。
- ・ クライアント端末開発、改修の際は本書、及び関連仕様書類が最新版かどうか、JREM まで問い合わせること。

－ 目次 －

1. 概要	1
1.1. 目的	1
1.2. 適用範囲	1
1.3. 関連ドキュメント	1
1.4. 用語の定義	1
1.5. 前提知識	3
2. QUICPay 業務サービスインタフェース	4
2.1. 開局要求インタフェース	4
2.1.1. 要求	4
2.1.2. 応答	4
2.2. 起動要求／業務要求インタフェース	6
2.2.1. 要求	6
2.2.2. 応答	6
2.2.2.1 TLAM メタデータ通知	6
2.2.2.2 処理結果通知	6
3. OperateDevice メッセージインタフェース	7
3.1. ステータス設定	7
3.2. キャンセル確認	8
3.2.1. キャンセル確認要求	8
3.2.2. キャンセル確認結果通知	9
3.3. R/W デバイス操作	9
3.3.1. R/W デバイス操作要求	9
3.3.2. R/W デバイス操作結果通知	13
3.4. リトライ要求	14
3.5. 処理結果通知	15
3.5.1. 処理結果通知メッセージ	15
3.5.2. 処理結果通知応答	15
4. クライアント端末に対する動作要求	16
4.1. アクセス集中を防ぐ対応	16
4.2. 概要	16
4.3. 処理未了が発生した場合の動作	16
4.4. 通信エラーが発生した場合の動作	17
5. 付録	18
5.1. エラーコード一覧	18
5.1.1. 共通エラーコード一覧	18
5.1.2. 端末固有エラーコード一覧	18
5.2. エラーコード一覧(業務処理状態応答結果)	18
5.3. 端末の状態遷移	19
5.4. R/W デバイス操作内容	20
5.4.1. オンライン処理	20

5.4.2.	オンライン処理以外	21
5.5.	処理結果コード一覧	22
5.6.	トレーニングモードのシナリオと動作条件	23
5.7.	決済業務における動作シーケンス図	23

1. 概要

1.1. 目的

本書は、リモートアクセスシステム(以下 RAS と呼ぶ)とクライアントとのインタフェースを定義する。

1.2. 適用範囲

RAS が提供する QUICPay 業務サービスを利用するための RAS-クライアントインタフェース、及び RAS が使用する iCAS(IC-Chip Access Server for FeliCa)の OperateDevice メッセージについての仕様を定義する。電子マネーで共通な RAS-クライアントインタフェースについては、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書)」に記載する。

なお、iCAS とクライアント間での TCAP(Thin Client Application Protocol) 通信については、本書の範囲外とする。

1.3. 関連ドキュメント

このドキュメントと関連するドキュメントを下記に示す。

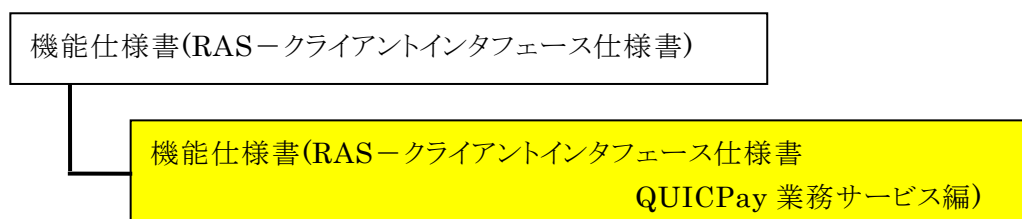


図 1-1 関連ドキュメントと本書の位置付け

1.4. 用語の定義

本書で使用する用語の定義を下表に示す。

表 1-1 用語定義

項番	用語	意味
1	IC カード	FeliCa チップが搭載された IC カード。
2	IC チップ/チップ	IC カード、移動機に搭載されている FeliCa チップ。
3	FeliCa	非接触型 IC カード。
4	HTTPs インタフェース	HTTP のリクエスト、レスポンス仕様に準拠したインタフェース。
5	OperateDevice インタフェース	TCAP の OperateEntity プロトコルに準拠した、R/W デバイス操作のためのインタフェース。
6	OperateEntity プロトコル	クライアントのデバイスを操作するためのプロトコル。

項番	用語	意味
7	SF(Stored Fare)	あらかじめ購入したカードを駅の自動改札機やバスのカード読み取り機・カード精算機に直接通すことで、乗車区間の運賃をカードから自動的に差し引くシステム。
8	SPRWID(TID)	売上情報に設定される端末識別子。以下の 13 桁の情報。
9	TCAP (Thin Client Application Protocol)	ネットワーク経由で FeliCa 対応リーダー/ライターを操作するための通信プロトコル。
10	TLAM(Three-Legged Application Model)	ネットワークを経由して FeliCa チップにアクセスするためのサーバミドルウェアが使用しているフレームワークの名称。
11	エンドユーザ	店舗のクライアントや CP のクライアントを利用して売上や取消を行うお客(カード利用者)の総称。
12	クライアント/クライアント	FeliCa チップにアクセスするための機能が搭載された機器の総称。
13	クライアント操作者	店員等のクライアントを操作する者。クライアントの種類によってはエンドユーザがクライアント操作者となる。
14	サーバ	RAS の Web アプリケーションが動作しているサーバ。
15	業務	「売上」や「取消等」の個別の提供サービス。
16	業務サービス	異なる端末に対する、提供業務の総称。端末とのインタフェースや、一連の提供業務が含まれる。
17	端末	クライアントのこと。
18	外接オンラインサーバ	イシュー/アクアイアラサーバと RAS とのデータを中継するためのサーバ。RAS では、信用照会時にアクセスを行う。
19	オンライン処理	IC カードの信用照会を行うこと。
20	ポイント残高	カードに書き込まれたカードの利用枠で、以下のいずれかの場合に増減する。 (1)実額オーソリではない売上業務の場合、売上金額分残高が減少する、売上業務時に売上金額に対して、残高が不足している場合にチャージオーソリが行われる。 (2)実額オーソリではない取消業務の場合、取消金額分残高が増加する(カード毎に決められた値を超えての増加はしない)。
21	チャージオーソリ	オフライン可能枠が不足するたびにオンラインオーソリで与信情報を確認し、任意にオフライン可能枠上限を設定し、QP システムにおけるオフライン決済とリスク管理のバランス制御を実現するための機能。 以下に示すいずれかの条件に合致した場合に行われる。 (1)取引金額と QUICPay カードの利用可能金額(ポイント残高)を比較し、"取引金額>利用可能金額(ポイント残高)"の場合 (2)取引日付>最終取引日付+ N か月後の翌月 1 日(現行 N=3)の場合 ※両方合致した場合は(1)のみを行う。 上記(1)および(2)のオーソリ金額は、以下の通り設定する。 (1) "利用可能上限額(ポイント残高上限)-利用可能金額(ポイント残高)" (2) "利用可能上限額(ポイント残高上限)"
22	QUICPay+	QUICPay の機能拡張で売上上限金額を引き上げ、実額オーソリ処理を追加する。 クレジットカードに加え、デビットカード、プリペイドカードを利用可能とする。(以降、QP+と称す。) QP+は端末毎に有効/無効が設定される、有効か無効かの判定は RAS センター側で行う。

項番	用語	意味
23	実額オーソリ	<p>オフライン可能額を超えた決済を行うたびに、オンラインオーソリで与信情報を確認し、リスク管理するための機能。以下のいずれかの場合に行われる。</p> <p>(1)QP+の売上において、”取引金額>チップのオン/オフ閾値”の場合</p> <p>(2)取消、返品、かざしなし返品の取消において、元の売上が実額オーソリであった場合</p>

1.5. 前提知識

本書の内容を理解するためには、下記の知識が必要である。

- ・ HTTP(HyperText Transfar Protocol)に関する一般的な知識 (RFC2068、RFC2616、RFC2817、RFC2818 他)
- ・ JSON(JavaScript Object Notation)に関する一般的な知識 (RFC4627 他)
- ・ TCAP(Thin Client Application Protocol)に関する知識

※RFC(Request for Comments):IETF(Internet Engineering Task Force)による技術仕様の保存・公開形式を示す。

2. QUICPay 業務サービスインタフェース

2.1. 開局要求インタフェース

2.1.1. 要求

「機能仕様書(RASクライアントインタフェース仕様書)」の“パラメータ詳細(交通系電子マネー業務サービス以外)”を参照

2.1.2. 応答

QP 業務サービスは、「表 2-1 QUICPay 業務サービス固有の応答データ一覧」で示す QUICPay 業務サービスの固有情報を応答情報としてクライアントに返す。なお、QP の moneyname(業務サービス名称)は、「QP」とする。

表 2-1 QUICPay 業務サービス固有の応答データ一覧

項番	項目	パラメータ名	設定の要否	データ長	データ属性	値	内容
1	マニュアル取消入力可否フラグ	manualFlg	必須	4～5(可変)	true/false	true	マニュアル取消入力可
						false	マニュアル取消入力否
2	一部返品入力可否フラグ	partRtFlg	必須	4～5(可変)	true/false	false※1	一部返品否
3	レシート出力要否	receiptOutputFlg	有	4(固定)	string	例) 0000,1111,0001,0101,1110 など 16 通り	1 桁目:お客様控え用レシート 2 桁目:加盟店控え用レシート 3 桁目:加盟店本社控え用レシート 4 桁目:カード会社控え用レシート 0:レシート出力不要 1:レシート出力要

※1 一部返品業務使用不可のため false 固定となる。

応答データの例を下記に示す。

- 正常終了

```
{
  "result":true,
  "money":[{"
    "moneyname":"QP","mresult":true,"t1":30,"termIdentId":"iD01234567890","code":null,
    "manualFlg":true,
    "receiptOutputFlg":"1111",
    "partRtFlg":true
  }]
}
```

2.2. 起動要求／業務要求インタフェース

2.2.1. 要求

QUICPay 業務サービスは、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 2.2.1.」で示すパラメータを指定して RAS を呼出す。

2.2.2. 応答

2.2.2.1 TLAM メタデータ通知

IC カードアクセスを行う業務については、応答データとして TLAM メタデータをクライアントに送信する。詳細は、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書)」を参照とする。

2.2.2.2 処理結果通知

IC カードアクセスを行わない業務については、応答データとして処理結果通知をクライアントに送信する。返却するデータについては「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 2.2.2.2」を参照。

3. OperateDevice メッセージインタフェース

3.1. ステータス設定

RASの業務処理の実行状態を示すステータスを RAS からクライアントに通知する。RAS からクライアントに対して、下記の実行状態に合わせてステータス設定値を通知する。

表 3-1 ステータス設定結果通知インタフェース

項番	業務処理 実行状態	ステータス 設定値	概要	備考
1.	Open コマンド実行時	1	IC カードのオープン処理を実行していることを示す。 このステータスで障害が発生した場合、クライアントはICカードの処理が完了していないと判断する。IC カードの内容は変更されない。	
2.	Write コマンド実行時または QP+売上、取消・返品において、実額オーソリ実行時	2	IC カードの書き込み処理を実行していることまたはQP+売上、取消・返品で実額オーソリを実行していることを示す。 このステータスで障害が発生した場合、クライアントはICカードの処理が完了しているか否かの判断ができない状態である。IC カードの内容は変更されているか否か不明な状態であり、復旧処理が必要となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴出力など Write コマンドや実額オーソリを実行しない業務では、RAS からクライアントにステータスコード「2」のステータス設定要求を通知しない。 ・RAS はステータス設定結果通知の結果に関わらず、Write コマンドが正常完了した場合および QP+売上、取消・返品の実額オーソリ成功時に売上情報を確定する。
3.	業務処理終了時	3	IC カード処理が完了していることを示す。 このステータスで障害が発生した場合、IC カードへの処理は完了していると判断する。 業務処理が正常に完了している場合、IC カードの内容は変更されている。 業務処理がエラー終了した場合、IC カードの内容は変更されているか否か不明な状態であり、復旧処理が必要となる。	

ステータス設定インタフェースの設定値については「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編) 別冊 パラメーター一覧 3.1.」を参照。

3.2. キャンセル確認

3.2.1. キャンセル確認要求

キャンセル確認要求インターフェースについては「機能仕様書(RAS－クライアントインターフェース仕様書)」を参照。

3.2.2. キャンセル確認結果通知

キャンセル確認結果通知インタフェースについては「機能仕様書(RASークライアントインタフェース仕様書)」を参照。

3.3. R/W デバイス操作

3.3.1. R/W デバイス操作要求

R/W デバイス操作要求インタフェースの設定値、及び具体例を以下に示す。R/W デバイス操作インタフェースについては「機能仕様書(RASークライアントインタフェース仕様書)」を参照。

表 3-2 R/W デバイス操作インタフェース(UI ガイドライン未対応)

デバイス名		R/W_UI	
パラメータ名		R/W_PARAM	
パラメータ データ	データ長 (2Byte)	下記データのバイト列のデータ長 (n)	
	データ (Byte 配列)	デバイス操作情報 (下記のプロパティ) を JSON データフォーマットで設定する。	
プロパティ名		値	内容
ring (誘導表示)		[制御コード, 色コード, 時間]	制御コードで消灯/点灯/点滅を、色コードで点灯色を、時間で点灯時間を指定する。 なお、制御コード、色コード、時間に全て 0 が指定された場合は消灯する。 ■制御コード 0(0x00): 消灯 1(0x01): 点灯 2(0x02): 点滅 (点滅周期を 1000msとし、500ms点灯ー500ms消灯) ■色コード 0(0x00): 消灯 (制御コードが 0 の場合にのみ指定する) 1(0x01): 青 2(0x02): 赤 3(0x03): 緑 ■時間 点滅又は点灯時間を秒単位で指定する。指定値は、端末データに設定されている T2、T3 の値のいずれかを指定する。(正常終了時は T2、異常終了(エラー)時は T3 の値) また、0 を指定した場合は無期限とする。(次の指示があるまで点灯/点滅し続ける)
bar (決済結果表示)		[制御コード, 色コード, 時間]	制御コードで消灯/点灯/点滅を、色コードで点灯色を、時間で点灯時間を指定する。

sound	[種別コード, 制御コード]	<p>種別コードで IC カード種別を、制御コードで鳴動パターンを指定する。</p> <p>■種別コード 3(0x03): QuicPay 用</p> <p>■制御コード 3(0x03:ブザー3) 警告音 4(0x04:ブザー4) :許可音 6(0x06:ブザー6) :未了音※</p> <p>※既に端末側で制御コード:6(0x06)をブザー鳴動している場合、新たに RAS から制御コード:6(0x06)のブザー鳴動指示があっても鳴動し直さず、現在鳴動中のブザー音を継続すること</p> <p>99(0x63) : 鳴動停止</p>
lcd1	[メッセージ番号, メッセージ, 時間]	<p>R/W に表示するメッセージを指定する。</p> <p>■メッセージ番号 表示するメッセージのメッセージ番号 (3 桁固定)</p> <p>■メッセージ 表示するメッセージ (JIS8 で 16 文字固定)</p> <p>■時間 メッセージを表示する時間で、端末データに設定されている T1、T2、T3 の値のいずれかを指定する。(正常終了時は T2、異常終了(エラー)時は T3 の値) また、0 を指定した場合は無期限とする。(次の指示があるまでメッセージを表示し続ける)</p> <p>表示するメッセージについては、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書)」を参照</p>
lcd2	[メッセージ番号, メッセージ, 時間]	<p>R/W に表示するメッセージを指定する。</p> <p>■メッセージ番号 表示するメッセージのメッセージ番号 (3 桁固定)</p> <p>■メッセージ 表示するメッセージ (JIS8 で 16 文字固定)</p> <p>■時間 メッセージを表示する時間で、端末データに設定されている T1、T2、T3 の値のいずれかを指定する。(正常終了時は T2、異常終了(エラー)時は T3 の値) また、0 を指定した場合は無期限とする。(次の指示があるまでメッセージを表示し続ける)</p> <p>表示するメッセージについては、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書)」を参照</p>

表 3-3 R/W デバイス操作インタフェース(UI ガイドライン対応)

デバイス名		R/W_UI	
パラメータ名		R/W_PARAM	
パラメータ データ	データ長 (2Byte)	下記データのバイト列のデータ長 (n)	
	データ (Byte 配列)	デバイス操作情報 (下記のプロパティ) を JSON データフォーマットで設定する。	
プロパティ名		値	内容
ring (誘導表示)		[制御コード, 色コード, 時間]	制御コードで消灯/点灯/点滅を、色コードで点灯色を、時間で点灯時間を指定する。 なお、制御コード、色コード、時間に全て 0 が指定された場合は消灯する。 ■制御コード 0(0x00): 消灯 1(0x01): 点灯 2(0x02): 点滅 (点滅周期を 1000msとし、500ms点灯－500ms消灯) 3(0x03): 長点滅 (点滅周期を2000msとし、1000ms点灯－1000ms消灯) ■色コード 0(0x00): 消灯 (制御コードが 0 の場合にのみ指定する) 1(0x01): 青 2(0x02): 赤 ■時間 点滅又は点灯時間を秒単位で指定する。指定値は、端末データに設定されている T1、T2、T3 の値のいずれかを指定する。(正常終了時は T2、異常終了(エラー)時は T3 の値) また、0 を指定した場合は無期限とする。(次の指示があるまで点灯/点滅し続ける)
bar (決済結果表示)		[制御コード, 色コード, 時間]	制御コードで消灯/点灯/点滅を、色コードで点灯色を、時間で点灯時間を指定する。 なお、制御コード、色コード、時間に全て 0 が指定された場合は消灯する。 ■制御コード 0(0x00): 消灯 1(0x01): 点灯 2(0x02): 点滅 (点滅周期を 1000msとし、500ms点灯－500ms消灯) ■色コード 0(0x00): 消灯 (制御コードが 0 の場合にのみ指定する) 1(0x01): 青 2(0x02): 赤 ■時間 点滅又は点灯時間を秒単位で指定する。指定値は、端末データに設定されている T1、T2、T3 の値のいずれかを指定する。(正常終了時は T2、異常終了(エラー)時は T3 の値) また、0 を指定した場合は無期限とする。(次の指示があるまで点灯/点滅し続ける)

sound	[種別コード, 制御コード]	<p>種別コードで IC カード種別を、制御コードで鳴動パターンを指定する。</p> <p>■種別コード 3(0x03): QuicPay 用</p> <p>■制御コード 3(0x03):ブザー3) 警告音 4(0x04):ブザー4) :許可音 6(0x06):ブザー6) :未了音※</p> <p>※既に端末側で制御コード:6(0x06)をブザー鳴動している場合、新たに RAS から制御コード:6(0x06)のブザー鳴動指示があっても鳴動し直さず、現在鳴動中のブザー音を継続すること</p> <p>99(0x63) : 鳴動停止</p>
lcd1	[メッセージ番号, メッセージ, 時間]	<p>R/W に表示するメッセージを指定する。</p> <p>■メッセージ番号 表示するメッセージのメッセージ番号 (9 桁固定)</p> <p>■メッセージ 表示するメッセージ (JIS8 で 24 文字固定)</p> <p>■時間 メッセージを表示する時間で、端末データに設定されている T1、T2、T3 の値のいずれかを指定する。(正常終了時は T2、異常終了(エラー)時は T3 の値) また、0 を指定した場合は無期限とする。(次の指示があるまでメッセージを表示し続ける)</p> <p>表示するメッセージについては、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 5.4.」を参照</p>
lcd2	[メッセージ番号, メッセージ, 時間]	<p>R/W に表示するメッセージを指定する。</p> <p>■メッセージ番号 表示するメッセージのメッセージ番号 (9 桁固定)</p> <p>■メッセージ 表示するメッセージ (JIS8 で 24 文字固定)</p> <p>■時間 メッセージを表示する時間で、端末データに設定されている T1、T2、T3 の値のいずれかを指定する。(正常終了時は T2、異常終了(エラー)時は T3 の値) また、0 を指定した場合は無期限とする。(次の指示があるまでメッセージを表示し続ける)</p> <p>表示するメッセージについては、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 5.4.」を参照</p>
lcd3	[メッセージ番号, メッセージ, 時間]	<p>R/W に表示するメッセージを指定する。</p> <p>■メッセージ番号 表示するメッセージのメッセージ番号 (9 桁固定)</p> <p>■メッセージ 表示するメッセージ (JIS8 で 24 文字固定)</p> <p>■時間 メッセージを表示する時間で、端末データに設定されている T1、T2、T3 の値のいずれかを指定する。(正常終了時は T2、異常終了(エラー)時は T3 の値) また、0 を指定した場合は無期限とする。(次の指示があるまでメッセージを表示し続ける)</p> <p>表示するメッセージについては、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 5.4.」を参照</p>

R/W デバイス操作要求の例については「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICKPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 3.3.1.」を参照。

3.3.2. R/W デバイス操作結果通知

R/W デバイス操作結果通知インタフェースについては「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書)」を参照。

3.4. リトライ要求

リトライ要求のインタフェースについては、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書)」を参照。

未了でリトライ要求を実施する場合は、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICKPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 3.4.」で定義した値を送信する。

3.5. 処理結果通知

3.5.1. 処理結果通知メッセージ

処理結果通知インタフェースの設定値、及び具体例を「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 3.5.1」「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 3.5.1(履歴出力)」「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 3.5.1(一部返品 1)」「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 3.5.1(一部返品 2)」に示す。

3.5.2. 処理結果通知応答

処理結果通知応答インタフェースについては「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書)」を参照。

4. クライアント端末に対する動作要求

本章ではクライアント端末に対する動作要求を示す。

4.1. アクセス集中を防ぐ対応

開局や日計等の業務を端末側で定時実行する場合、そのスケジューリングについて、RAS への過度のアクセス集中を防ぐ対策を講じる必要がある。対応方法は別途協議とする。

4.2. 概要

処理未了及び通信エラーが発生した場合、端末側では適切な判断を行い、必要に応じて復旧処理を実施する必要がある。本章では判断の方法及びその後の処理について説明する。なお、処理未了及び通信エラーの定義は「図 4-1 処理未了と通信エラーの定義」に示す通りとする。

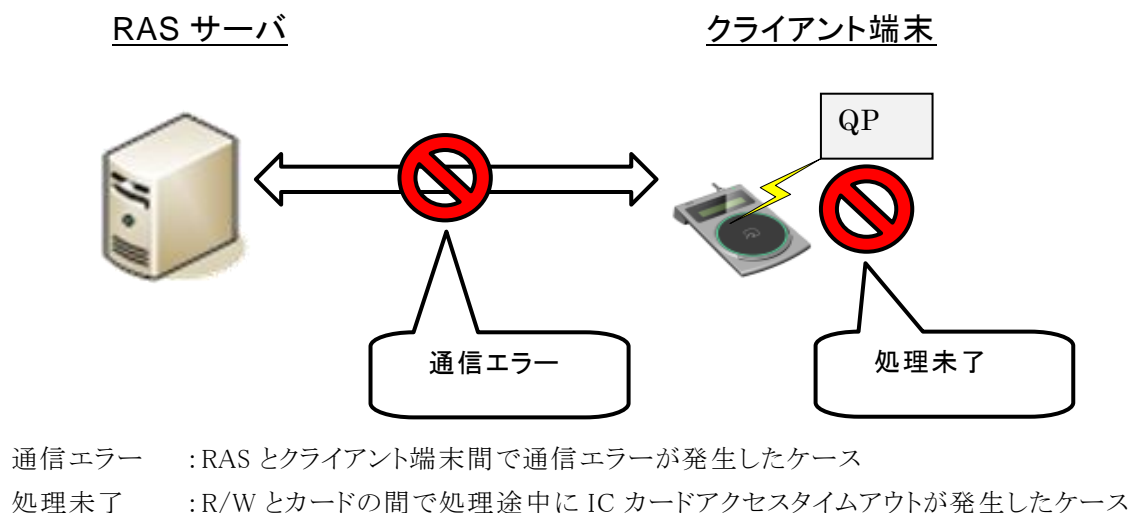


図 4-1 処理未了と通信エラーの定義

4.3. 処理未了が発生した場合の動作

処理未了が発生した場合の動作については「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 4.3」を参照。

4.4. 通信エラーが発生した場合の動作

通信エラーが発生した場合の動作については「機能仕様書(RAS・クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 4.4」を参照。

5. 付録

5.1. エラーコード一覧

5.1.1. 共通エラーコード一覧

端末固有のエラーコード、およびクライアントの表示メッセージについて「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.1.1.」に示す。

5.1.2. 端末固有エラーコード一覧

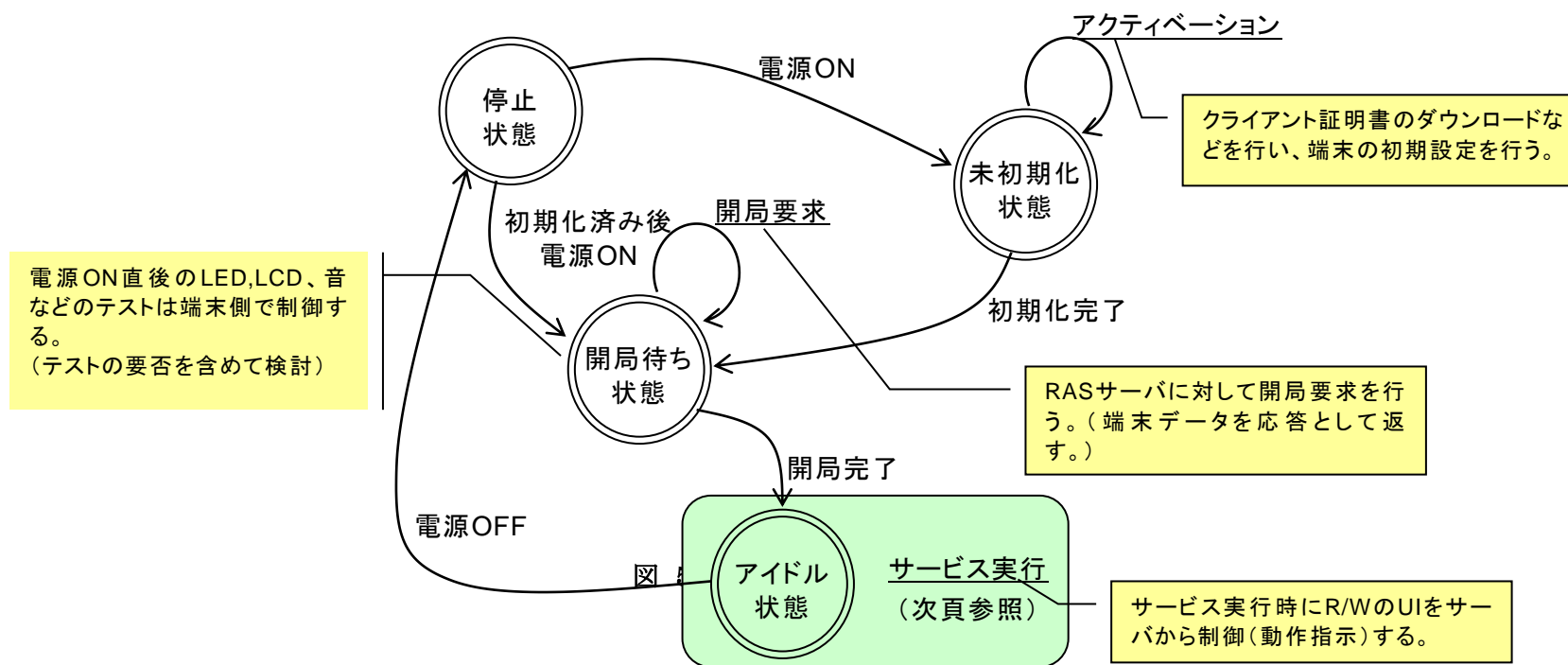
端末固有のエラーコード、およびクライアントの表示メッセージについて「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.1.2.」に示す。

5.2. エラーコード一覧(業務処理状態応答結果)

業務処理状態応答結果の処理状態情報(resultData)のエラーコード(code)には、「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.1.1」に加え以下のエラーコードが追加となる。「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.2.」のエラーコードが追加となる。端末固有のエラーコード、およびクライアントの表示メッセージについて「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.2.」に示す。

5.3. 端末の状態遷移

サーバ(RAS)から俯瞰したクライアント(端末)の状態遷移について記載する。サービス実行時の状態遷移は、売上業務を例として「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 **QUICPay**サービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.3.」に示す。



※障害時の状態遷移については、省略している。

※開局処理などでは、RASサーバ側でのUI制御は行わない。

5.4. R/W デバイス操作内容

R/W デバイス操作は、UI ガイドライン未対応・対応それぞれに対応しているが、新規に R/W の開発を行う場合は UI ガイドライン対応の R/W デバイス操作内容に従うこと。

5.4.1. オンライン処理

オンライン処理時のR/Wデバイスの操作内容について下記にまとめる。

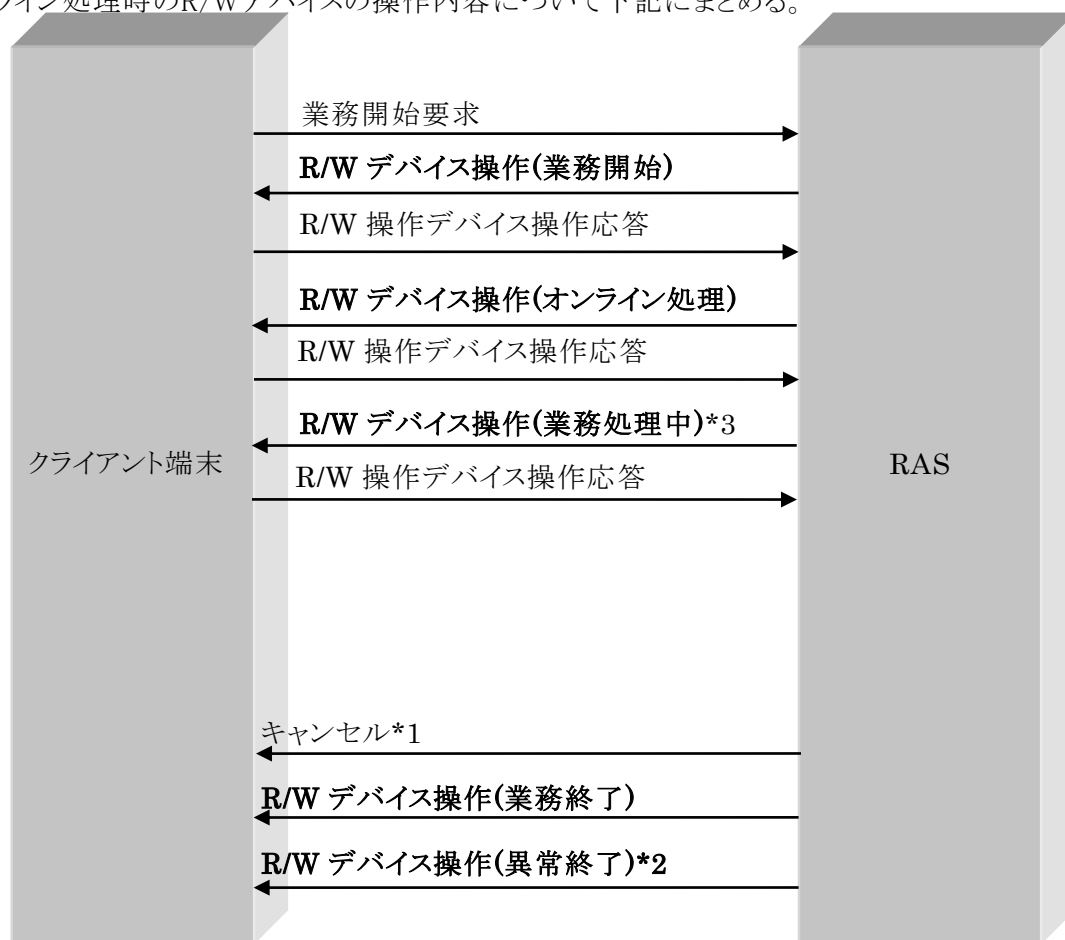


図 5-2 R/W デバイス操作内容 (オンライン処理)

*1 業務開始から終了までの間にクライアント端末からのキャンセル通知を受け取った場合に R/W デバイス操作を実施する。

*2 業務開始から終了までの間に業務処理にてエラーが発生した場合に R/W デバイス操作を実施する

*3 UI ガイドラインに対応した UI 指示時に実施される場合がある。

業務要求時のパラメータ「UI ガイドライン対応フラグ」「処理中 UI フラグ」の値により、R/W デバイス操作内容を制御している。具体的な R/W デバイス操作内容については「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.4.RW デバイス操作内容(UI ガイドライン対応)」に示す。

なお、旧仕様となる R/W デバイス操作の内容については以下に示す。

- UI ガイドライン対応(旧仕様)

「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.4.RW デバイス操作内容(UI ガイドライン対応_旧仕様)」に示す。

- UI ガイドライン未対応

「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメーター一覧 5.4.RW デバイス操作内容(UI ガイドライン未対応)」に示す。

5.4.2. オンライン処理以外

オンライン処理以外のR/Wデバイスの操作内容について下記にまとめる。

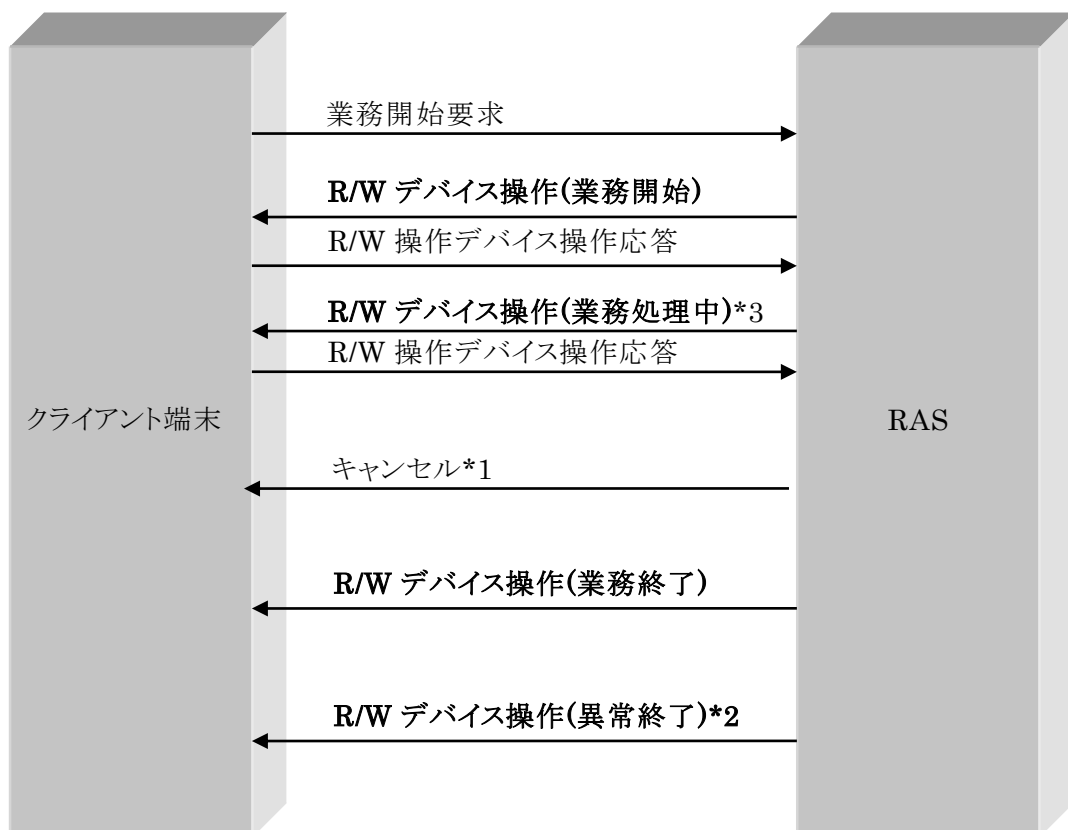


図 5-3 R/W デバイス操作内容(オンライン処理以外)

- *1 業務開始から終了までの間にクライアント端末からのキャンセル通知を受け取った場合に R/W デバイス操作を実施する。
- *2 業務開始から終了までの間に業務処理にてエラーが発生した場合に R/W デバイス操作を実施する
- *3 UI ガイドラインに対応した UI 指示時に実施される場合がある。

業務要求時のパラメータ「UI ガイドライン対応フラグ」「処理中 UI フラグ」の値により、R/W デバイス操作内容を制御している。具体的な R/W デバイス操作内容については「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 5.4.RW デバイス操作内容(UI ガイドライン対応)」に示す。

なお、旧仕様となる R/W デバイス操作の内容については以下に示す。

- UI ガイドライン対応(旧仕様)

「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 5.4.RW デバイス操作内容(UI ガイドライン対応_旧仕様)」に示す。

- UI ガイドライン未対応

「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 5.4.RW デバイス操作内容(UI ガイドライン未対応)」に示す。

5.5. 処理結果コード一覧

処理結果コードについて「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 5.5.」に示す。

5.6. トレーニングモードのシナリオと動作条件

トレーニングモードのシナリオとその動作条件について「機能仕様書(RAS-クライアントインタフェース仕様書 QUICPay サービス編)_別冊_パラメータ一覧 5.6.」に示す。

5.7. 決済業務における動作シーケンス図

以下に、売上業務における「正常終了」「未了発生時」「通信エラー発生時」のシーケンス図を示す。

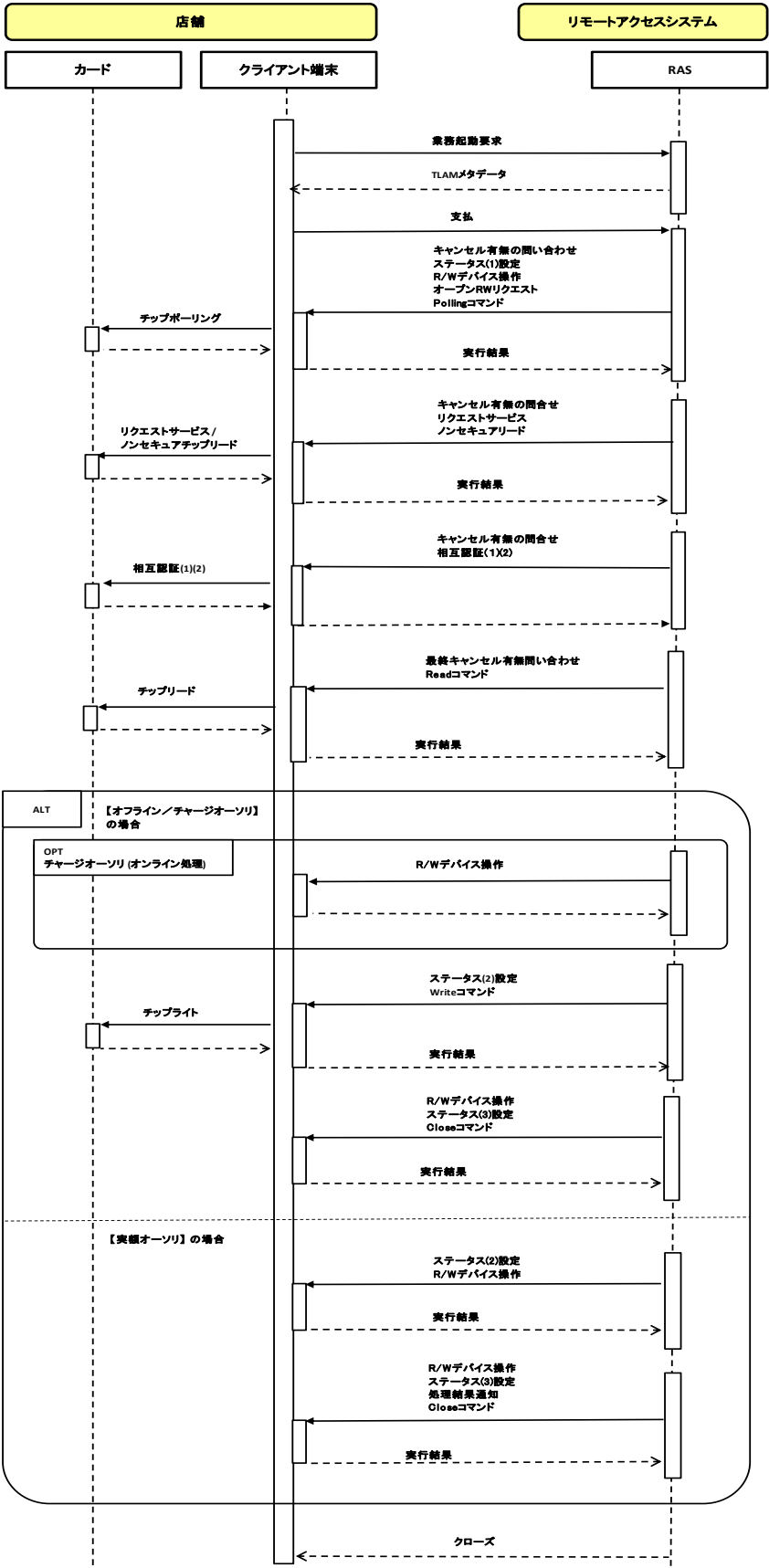


図 5-4 正常終了

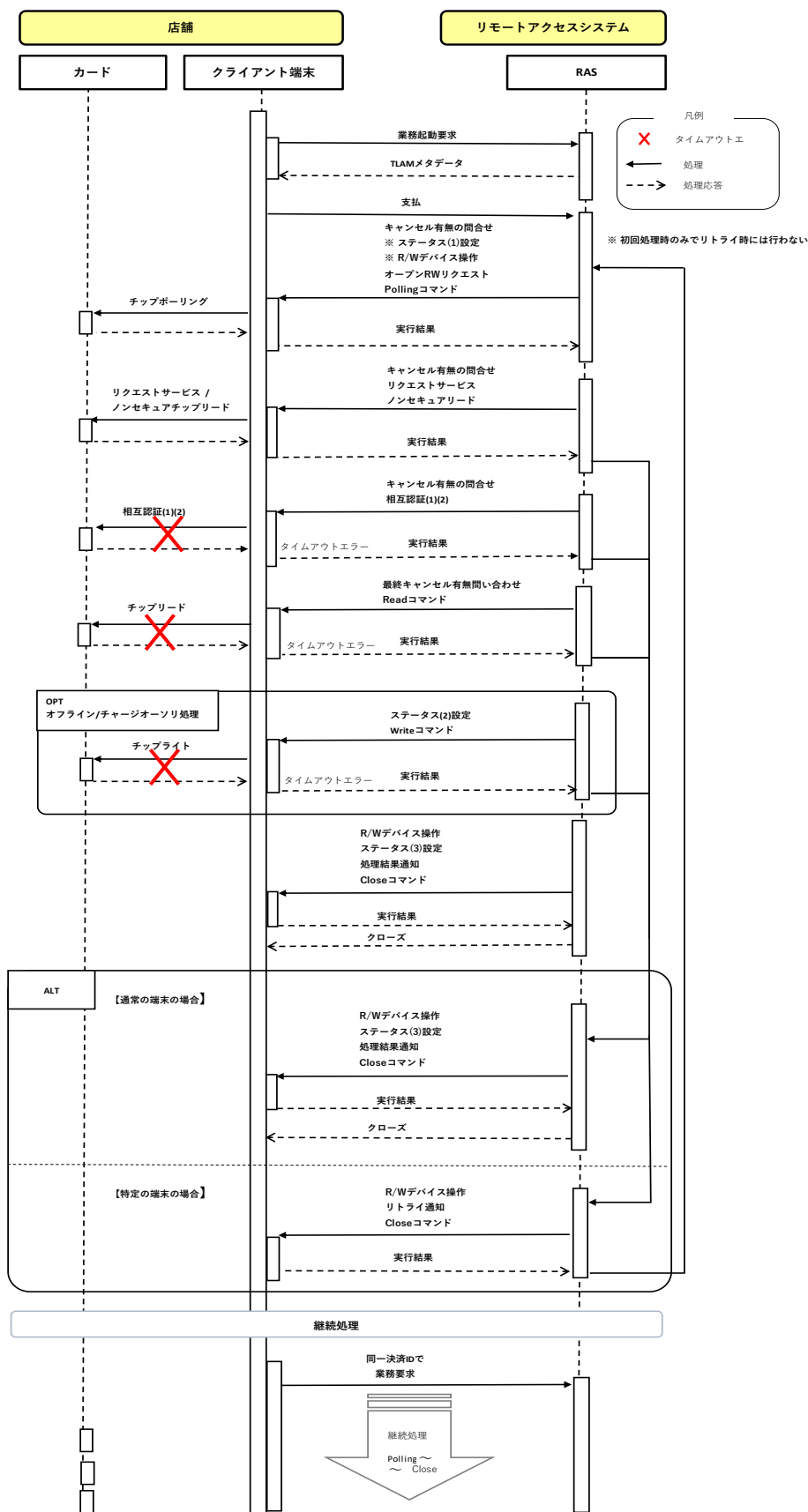


図 5-5 未了発生時

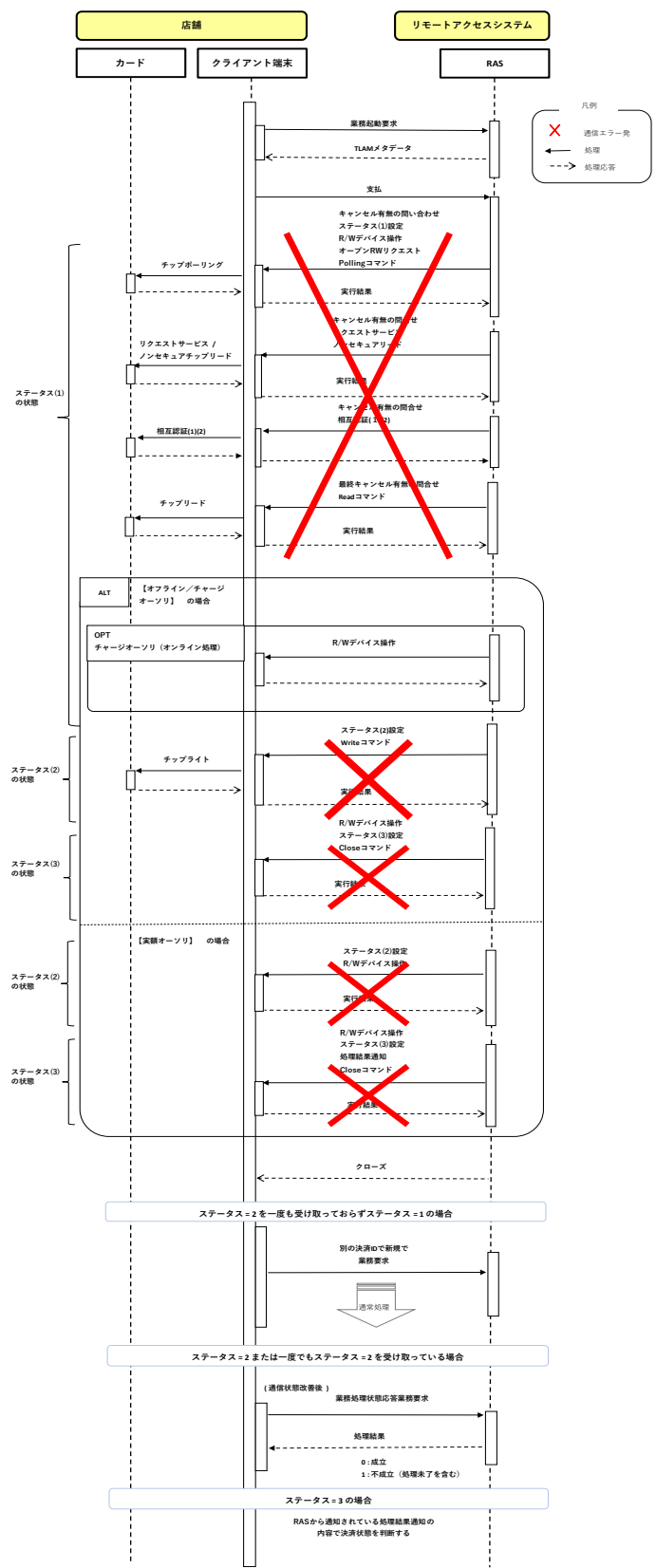


図 5-6 通信エラー発生時

以上